

令和6年度 妻北小 学校経営ビジョン



1 宮崎県が目指す教育

学びに向かう力を育む「ひなたの学び」

「㊦とりひとりが問いをもち ㊧かまとなって学び合い ㊨かめよう深く考える力」

2 西都市が目指す教育

「自立」し時代を生き抜く子どもの育成（西都版ひなたの学びアクションプランの実現）

3 妻北小の教育目標

「生きる力」を育み、心豊かでたくましく、主体的実践のできる児童の育成

○ 自ら学ぶ「希望の子」 ○ 自らやりぬく「力の子」 ○ 礼儀正しい「誠の子」

4 経営方針

学級経営を基盤とし、主体性を伸ばす授業や自主的・自立的な特別活動の充実を図ることにより、自分事として問題に向き合い、解決に向けて主体的に関わる子どもを育てる。

5 本年度の重点目標と具体策

(1) 生徒指導や特別支援教育を基盤とした学年・学級づくり

- 生徒指導の機能を生かした学級経営を行う。
(自己存在感を与える、共感的人間関係の育成、自己決定の場を設定する)
- 特別支援教育の視点を生かした学級経営を行う。
(教室環境の配慮、授業での配慮、児童への言葉かけの配慮 等)

(2) 主体的に関わる子どもを育む授業づくり

- 教科・さいと学の学習において子どもたちが主体的に関わる授業づくりを行う。
 - ・ 「ひなたの学び」を目指した日々の授業改善
 - ・ 西都の人・もの・ことを通して児童が主体的に関わるさいと学の授業実践
- 教科・さいと学での学びをアウトプットする機会を設定する。
 - ・ 学習した内容をアウトプットするための学習計画の工夫
(アウトプットの視点:何をどのように学んだのか。その結果、何ができるようになったか。)
 - ・ さいと学における児童の発想を生かした提案型・実践型の発表内容の工夫

(3) 自立につながる学校生活づくり

- 学級活動や児童会を中心とした自主的・自立的活動の充実を図る。
 - ・ 学級会における話合いの充実と事後の実践化
 - ・ 学校行事や委員会活動における自主的・自立的活動の充実